

THE COVE

この木造平屋建ての建物は 1916 年に遡り、蒲郡クラシックホテルの前身である旅館「常磐館」の別館として建てられた。海辺の旅館の宿泊客は、常磐館の本館があった場所のすぐ北、海岸を見下ろす高台にあるこの建物に泊まることができた。

客室は数寄屋風書院造りで、禅の影響を受けた書院造りに茶室建築の要素を取り入れたものだ。数寄屋風書院造りの特徴は、目に見える無塗装の木材や淡い色調の土壁、装飾

品を飾る床の間、光を取り入れる襖、畳敷きの床などである。

建物は登録有形文化財で、近年は「料亭竹島」として使われてきたが、2025 年から宿泊施設「THE COVE」になっている。